

災害時にトイレが使えなくなったら？

いわき市の非常用トイレを見よう！



Check!

個室水洗トイレが5基と小便器が1基あり、多目的トイレにはオストメイト用便器やおむつ替え台、チャイルドシートなども設置されています。

トイレカー

東日本台風の発生時に断水によってトイレの確保や衛生面の維持などの課題があり、令和4年3月に東北地方で初めて運用を開始しました。

断水時でも
キレイで災害時の
ストレスを
軽減できそう！



Check!

車椅子の方や階段の上り下りが難しい方のために、トイレカー後部には昇降機が設置されています。



- ✓ 道路が通行できれば、どこにでも移動できる
- ✓ 洋式水洗トイレなので、通常で利用できる
- ✓ 車椅子の方やオストメイト利用の方も安心して利用できる
- ✓ タンクが一杯になったらトイレカーごと下水処理場に移動して処理できる（緊急時）

マンホールトイレ

下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するものです。今回は豊間公園のものを取材しました。



豊間公園

Check!

豊間公園は津波発生時には地区住民や観光客の一時避難場所として機能するとともに、発災時は被災者の救援・救助活動の拠点となります。

トイレがあることで
安心して避難
できます！



- ✓ 水がなくても使うことができる
- ✓ 特殊な工具などがなくても設置できる
- ✓ 下水設備が使えなくても、マンホールトイレだけで完結して使える

Check!

設置場所には使い方が書かれた看板があり、テント型の個室トイレを設置することができます。容量も600ℓと大容量。20基設置されています。



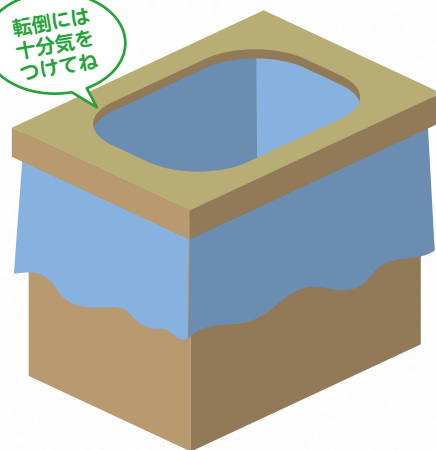
トイレを囲うテントは海沿いの強風を想定した頑丈な造りとなっており、マンホール内に格納されています。開口部には落下防止の金具が取り付けられていて、安全面にも配慮されています。

自分で用意できる非常用トイレ

災害時に、自分で用意できるトイレとして簡易トイレがあります。お店やインターネット販売等で購入できますが、ごみ箱や段ボールなど身の回りの物でも代用できます。屋外や車内で使用する場合はプライバシーを守るため、毛布やバスタオルで覆うことをおすすめします。

用意するもの

- 段ボールまたはごみ箱
- 黒いナイロン袋などの汚物入れ
- 新聞紙(吸収剤として)



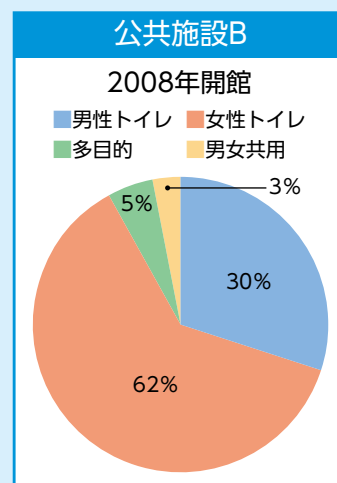
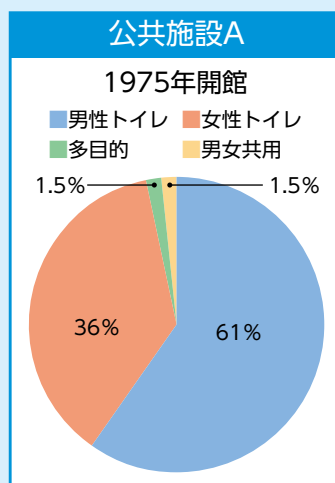
編集委員のコラム



トイレの男女比

皆さんは、女性トイレに行列ができていない光景を目にしたことはありませんか？

イベント会場や観光地、文化施設、高速道路のサービスエリアなど、さまざまな場面で目にしたことがあると思います。男性に比べて女性は、トイレでの所作が多く利用時間が長くなりがちです。そんな女性トイレの混雑問題から、皆さんが普段使用している公共トイレの男女比について着目し、いわき市では、実際にどのくらいの割合になっているのか、ある公共施設の例を調べてみました。



男性トイレは大便器、小便器を合わせた個数ではありますが、今回調査した2つの公共施設を比較すると、公共施設Aでは男性トイレが61%、女性トイレが36%と**男性トイレが女性トイレの約1.7倍**になっており、開館年が比較的新しい公共施設Bでは、男性トイレが30%、女性トイレが62%と**女性トイレが男性トイレの約2倍**になっています。

施設の目的にもよりますが、時代とともにトイレも変わってきていますね。

今回、いわき市のトイレ事情について調べましたが、性別・年齢・障がいの有無などにかかわらず、誰もが快適に使える工夫がされていることが分かりました。

女性活躍の機会が増えるとともに、女性トイレの数が増えてきたこと、多様な性に配慮したトイレの在り方が検討されていること、SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」が掲げられていることから、これからも多様な方々に配慮し変化していくトイレに関心を持ち、見守っていきたいと思いました。